

この説明書は____ちゃんの治療に必要な手術について説明したものになります。わからないことがあれば遠慮なく担当獣医師にお尋ねください。

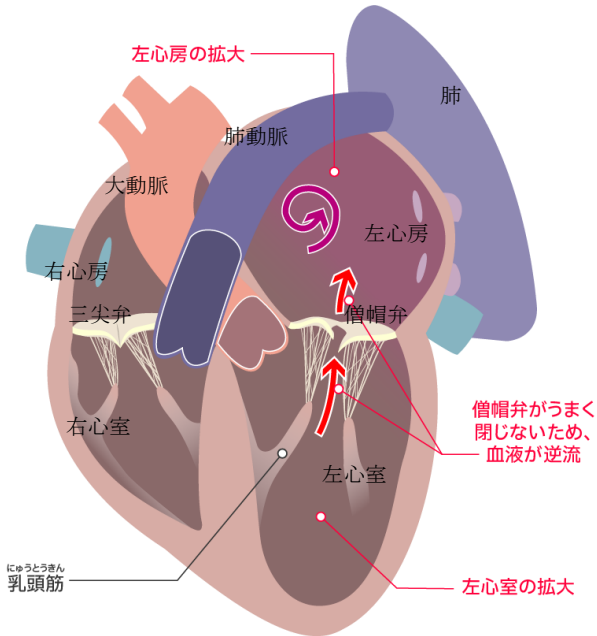
□ 1. 病名と現在の合併症
病名： 僧帽弁閉鎖不全症 (MR)

●現在の合併症

- ☐ 肺水腫
- ☐ 肺高血圧症
- ☐ 不整脈
- ☐ 腎不全
- ☐

●現在の投薬

- ☐ ACE 阻害薬（ベナゼプリル）
- ☐ 強心薬（ピモベンダン）
- ☐ 利尿剤（フロセミド、トラセミド）
- ☐
- ☐



説明時の検査結果	
LA/Ao	
LVIDDN	
E 波(m/s)	
僧帽弁逆流(m/s)	
三尖弁逆流(m/s)	
VHS	
血圧(mmHg)	

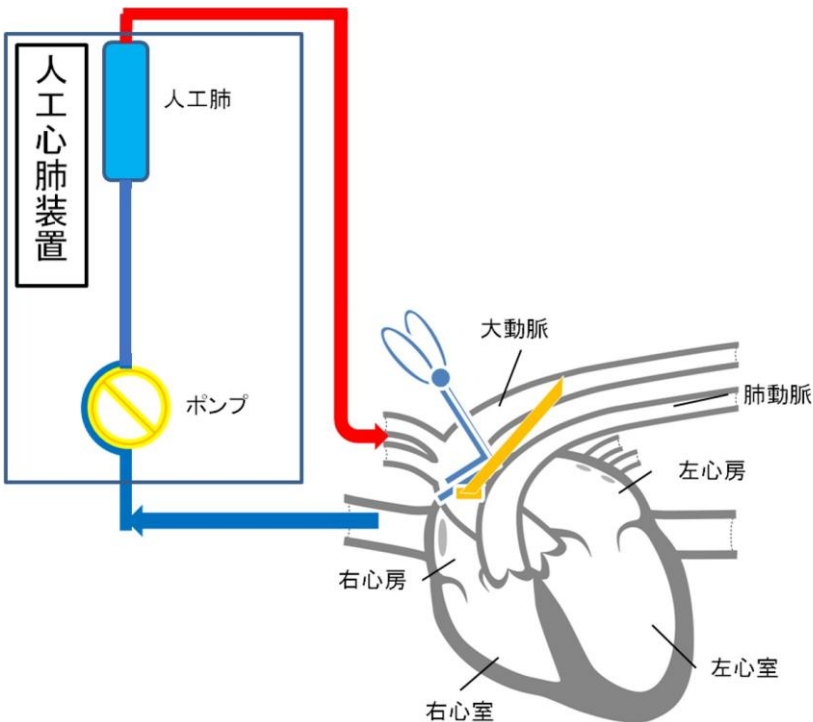
内科治療または外科治療が必要

ACVIM stage	A	B		C	D
		1	2		
定義	器質的な異常のない心疾患に進行する可能性のある患者(雑音のないキャバリア等)	器質的な心疾患の患者。臨床症状を示す可能性がない CVHDによって心臓リモデリングの根拠がない（エコー＆X線）無症候患者	心臓リモデリングの根拠がある（エコー＆X線）無症候患者 LA/Ao：>1.6 LVIDDN：>1.7 VHS：>10.5	過去あるいは現在、器質的な心疾患に関連して心不全の症状を呈していた、呈している患者	標準的な治療に反応しない進行した弁膜症で心不全症状のある末期患者
心臓					

□ 2. 手術内容： 体外循環下での 僧帽弁形成術
手術の流れ

- ① 全身吸入麻酔の開始
- ② 人工心肺開始
- ③ 開心手術（60－90 分）
- ④ 人工心肺離脱
- ⑤ 創部を縫合
- ⑥ 麻酔器からの離脱
- ⑦ I C U 管理

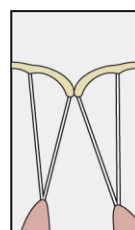
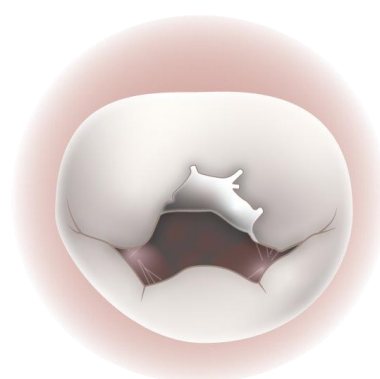
総麻酔時間：4－6 時間程度



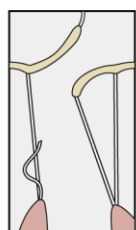
術式

● 左側肋間開胸

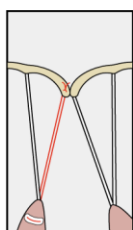
①腱索再建術



正常

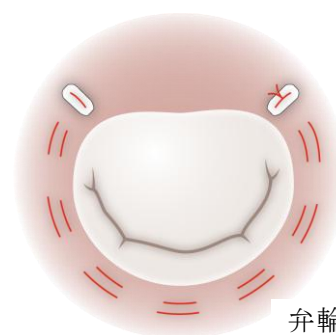


逸脱



ゴアテックス糸により修復

②弁輪縫縮



弁輪を締めることで、弁と弁の接合を改善させる

□ 3. 計画される医療行為の必要性

- ① 症状の改善のため。
- ② 心臓薬の減量または中止のため。
- ③ 心臓病の進行予防のため。
- ④ その他

※原則として予定手術となります。患者さんの状態によって、緊急手術になる場合や手術の中止または延期を提案する場合があります。

□ 4. 入院と術後管理

手術の前日に入院となります。患者さんの状態または、飼い主様の都合により変更いたします。

適切な術後管理のために、食道チューブを設置し投薬栄養管理をすることがあります。

術後管理は非常に重要で、合併症を起こさないように管理していきます。

□ 5. 退院について

退院の目安は入院 7-14 日後となっています。入院および退院日はその患者さんの状態によって変更することがあります。抜糸は術後約 10-14 日に行います。退院時には退院指導書をお渡しして、退院後の管理を説明します。

□ 6. 輸血

心臓外科手術には輸血準備が必須です。血液型検査及び供血犬とのクロスマッチ試験を実施して手術日に輸血を用意いたします。同居の子の協力ができる場合はお知らせください。

- クロスマッチ試験は手術予定日の 3-5 日前に実施
- 患者さんの体格によっては自己血を使用
- 供血犬の条件
 - 8 歳未満、10kg 以上、貧血がない (PCV32%)、既往歴がない (腫瘍など)、予防接種が行われている (フィラリア予防) などです。

□ 7. 計画される医療行為（外科手術）の危険性および合併症

心臓手術の合併症は重篤になる場合があります。どのような重症度であっても最悪の状態としては亡くなる可能性もあるため手術のリスクに関して理解できない場合は繰り返し獣医師にお尋ねください。

- ① 出血
- ② 心不全
- ③ 不整脈
- ④ 呼吸不全（肺水腫など）
- ⑤ 腎不全
- ⑥ 肝不全
- ⑦ 膵炎（嘔吐）
- ⑧ 血栓
- ⑨ 脳障害（発作・痙攣）
- ⑩ 感染性心内膜炎
- ⑪ 輸血の副作用（溶血、各臓器障害など）
- ⑫ プロタミン（ヘパリンの拮抗薬）ショック
- ⑬ その他

※現時点で予測困難な合併症が生じたりする場合があります。

□ 8. 手術の成功率について

現在のところ、手術は9割以上の患者さんが退院します。手術の成功は本人の状態などによっても左右はされます。

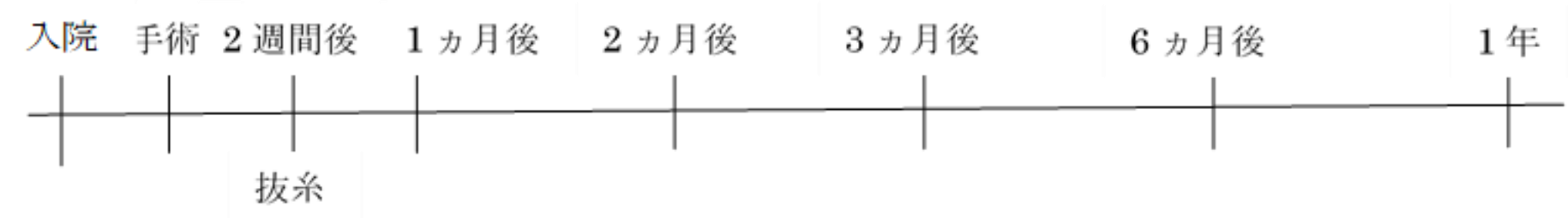
□ 9. 手術を受けている年齢

心臓外科チームでは5-16歳までの患者さんに手術をしています。多くは9-13歳の患者となっています。

□ 10. 手術の費用について

手術費用の総額 180-200 万前後（税別）（入院から退院までの総額）
※内金として入院時または入院前日までに 140 万円を入金していただいています。
※心臓外科手術は人工心肺など医療材料が非常に高額であり、多くの人員を要して手術をするため、内金をいただいております。（緊急手術の場合は 155 万円をの入金となります）
※緊急手術の場合や、術後の管理内容、入院期間などで費用が高くなる場合があります。
※手術および術後管理にかかった費用に関して返金はありません。

術後の検診流れ



術後3ヵ月が一つの治療ゴールの目安です。血栓を抑える薬は3ヵ月服用します。その他内服薬も3ヵ月検診までに休薬することが多いです。

□ 11. この医療行為を行わなかった時の見込み

心臓手術を行わなかった場合でも、これまでの内科治療（投薬）にて延命できることがあります。内科治療をご希望の場合は、主治医に従って内科治療を継続してください。

□ 12. スクリーニング検査と手術日程

手術前には血液検査などのスクリーニング検査が必要となります。

手術に関する同意書

「手術に関する説明書」に記された内容について、十分な説明を受けるとともに質問する機会を得ました。
この説明により予定されている 僧帽弁閉鎖不全症の手術 における治療効果および治療リスクを十分に理解
しました。担当獣医師の指示による手術を同意致します。また、手術・入院中に緊急の処置を行う必要が生じた場合
には、適宜処置されることも承諾致します。

年 月 日

飼主名 印

動物名

血液クロスマッチ試験（手術予定の3-5日前）

手術予定日：

動物心臓外科センター
住所：〒158-0081 東京都世田谷区深沢 6-2-15
電話：03-6432-3450
<https://www.southtokyo-amc.com/acsc.php>

説明獣医師